

JSR 株式会社による
株式会社医学生物学研究所および JSR ライフサイエンス株式会社を含む
体外診断用医薬品事業、体外診断用医薬品材料事業の承継のための
吸収分割及び株式譲渡に関するお知らせ

2025 年 4 月 22 日

株式会社医学生物学研究所（取締役社長 伊藤 浩毅、以下 MBL）の親会社（100%出資）である JSR 株式会社（代表取締役・CEO・社長執行役員：堀 哲朗、以下「JSR」）は、2025 年 4 月 22 日開催の取締役会において、新たに JSR-01 株式会社（以下、「新設会社」）を設立し、MBL および JSR ライフサイエンス株式会社（代表取締役社長：高本 英司）を含む体外診断用医薬品事業、体外診断用医薬品材料事業を新設会社へ吸収分割により承継させるとともに、株式会社トクヤマ（代表取締役 社長執行役員：横田 浩、以下「トクヤマ」）へ新設会社の全ての発行済株式を譲渡することを決定し、事業譲渡する株式譲渡契約を締結したことをお知らせします。

今般、トクヤマは中期経営計画 2025 において「電子」「健康」「環境」分野を成長事業と設定し、2030 年度には成長事業の売上高比率 60%以上を目指し事業ポートフォリオの転換を進めております。今回の譲渡対象事業である体外診断用医薬品事業、体外診断用医薬品材料事業は、同社の「健康」分野の中核を担うべき事業として、企業価値の更なる向上に貢献することが可能になると考え、新設会社の株式を譲渡することで合意に至りました。

新設会社の設立は 6 月 1 日、株式譲渡の実行は 10 月 1 日を予定しています。

MBL は、今後も革新的な診断技術で、人々の健康と医療の発展に貢献していきます。全てのステークホルダーから信頼される企業として、強固な事業基盤の確立と、持続的な価値向上に積極的に取り組んでまいります。

JSR 株式会社について

JSR 株式会社は、先端技術が強みとするテクノロジー業界のグローバルリーディングカンパニーです。Materials Innovation をミッションに掲げ、マテリアルをつうじたサイエンスの技術を価値に繋ぎ未来を創ることで企業価値を向上しています。高い品質に機能性を付加価値として加えることで、イノベーションを推進しています。私たちはこれからも、社会課題に向き合うことで人々の生活に応え、日々の生活を豊かにしてまいります。

<https://www.jsr.co.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ：

株式会社医学生物学研究所

本社所在地 〒105-0012 東京都港区芝大門 2 丁目 11 番 8 号 住友不動産芝大門二丁目ビル

電話 03-6684-6860（代表）

お問い合わせフォーム：<https://www.mbl.co.jp/contact/contact.html>

【株式会社医学生物学研究所について】

1969 年に日本で最初の抗体メーカーとして設立され、現在では、免疫学的領域のみならず、遺伝子診断の領域にも事業を拡大して、臨床検査薬及び基礎研究用試薬の研究・開発・製造・販売を行っています。

臨床検査薬事業では、自己免疫疾患、がん、感染症等の検査薬の開発・販売を行っています。自己抗体診断分野では日本国内トップメーカーとして製品ラインナップの充実を図り、難治性疾患の多い当該分野の医療に貢献しています。がん診断分野では医薬品の効果を予測するコンパニオン診断薬を開発し、個別化医療に貢献しています。

以上